



# つばさ

第 77 号 2025 年 5 月発行  
放送大学 兵庫学習センター  
姫路サテライトスペース

## 非形式論理学のすすめ



米谷 淳 兵庫学習センター客員教授  
神戸大学名誉教授（大学教育推進機構）  
専門 実験心理学・社会心理学



2024 年度は「詭弁の心理と論理」というテーマにチャレンジしました。「初物」で苦勞しましたが、多くの学びと気づきがありました。とくに、詭弁や誤謬を、聞き手や聴衆を説得するための修辞法（レトリック）にとらえる香西秀信氏の著書をきっかけに、非形式論理学に出会えました。誤謬には形式論理的誤謬と非形式論理的誤謬があります。前者は論理的な誤りです。後者は多義語による混乱を利用するもの、前提がないもの・あやしいもの、論点から注意を逸らしたり話し手を人格攻撃したりするアンフェアなものなどがあり、非形式論理学で研究されています。

非形式論理学は哲学（論理学）の一分野として 1970 年代から北米の大学を中心に大学教育で教えられています。形式論理学とは扱う対象も教え方も異なります。議論 argument、すなわち、前提から結論を導き出す妥当で安全な推論のし方を研究し、大学教育においては、例えばデイマー（2023）のように、議論を評価する基準を学んだ後、様々なメディアに現れた言論・言説を例に、誤謬のない説得力ある議論にするための改善方法を検討します。

詭弁やレトリックはギリシア時代、ソフィストにより議論に打ち勝つテクニックとして教えられていました。アリストテレス（紀元前 384～322 年）の『弁論術』は論理学・修辞学に大きく寄与しましたが、そこには、効果的な話をするには論理だけでは不十分であり、聞き手の感情に訴えかける話し方と、話し手自身が聞き手から信頼されるに足る人物であることが必要であると書かれています。ところで、アリストテレスは『心とは何か』と題する世界最初の心理学書を書いています。説得力のある議論をするために何が必要か。これを考えると、心理学と論理学、とくに対人心理学と非形式論理学に密接な関係があることがわかります。

非形式論理学は心理学を含め様々な関連領域と関わる学際的分野であり、対人コミュニケーションを学ぶ



うえで大いに役立ちますが、私たちが正しい認識を日々持ち続けるのに役立ちます。正しい認識をもつには毎日ニュースを視聴するだけでなく、科学に親しみ、地理・歴史を学び、さまざまな土地を旅していろいろな文化の人々と交流して視野を広げることが大切ですが、詭弁や誤謬に惑わされ、ついすっかり誤った知識・情報を受け入れ、人に騙されないためにも、非形式論理学を学んでみることをお勧めします。

（写真は米谷先生の 2024 年度 特別講義（ゼミ）「詭弁の心理と論理」より）



# 新任客員教員のご紹介



2025 年度、兵庫学習センターに新たにお迎えした先生にメッセージをいただきました



しげとみ きみお  
**重富 公生**

兵庫学習センター客員教授  
神戸大学名誉教授  
専門 近・現代西洋経済史

アメリカ合衆国でドナルド・トランプ氏が大統領に再就任し、同国や世界の経済に大きな影響を及ぼしていることが論壇をにぎわしているようです。アメリカは、20 世紀の覇権国家として位置づけられ、とくに第二次世界大戦直後は、政治的・軍事的秩序の調整の役割を積極的に果たし、また圧倒的な工業生産力に支えられ、多角的自由貿易を主導する役割も担いました。世紀後半の石油危機や国際通貨制度の変動のあとは、そのような性格はやや弱まりましたが、アメリカが政治経済のリーダーとして振舞うことを他国からは期待されていました。

ただ、それがアメリカの伝統とは見なしにくい面もあります。アメリカはすでに 20 世紀が始まった時点で、一人当たり GDP の額で、それまでの経済大国であったイギリスを抜いていました。その経済的優位は第一次世界大戦後ますます顕著になっていきましたが、一方で、かつての覇権国イギリスが引き受けていたような役回り、つまり世界政治や軍事、貿易のリーダーとして行動することには消極的でした。19 世紀初期以来の長い孤立主義的伝統を引きずっていたのです。それが第二次世界大戦につながる大きな伏線となったかもしれません。関税についても 19 世紀を通じて高率の関税を設定し続け、それほ、ほぼ 1930 年代の大恐慌の時期まで続いたので、じつはこちらも長い実績を有します。このような長期的視野から大局的に見る必要もあると考えています。

私は、アメリカの前の経済大国であったイギリスについて、産業革命以降の 19 世紀の経済史を中心に学んでいます。そのイギリス、あるいはその前の経済大国もふくめて、興隆と没落の一種のサイクルもあるようですので、授業ではその背景もふくめて、できるかぎり多面的にお話ししたいと思います。

私は、アメリカの前の経済大国であったイギリスについて、産業革命以降の 19 世紀の経済史を中心に学んでいます。そのイギリス、あるいはその前の経済大国もふくめて、興隆と没落の一種のサイクルもあるようですので、授業ではその背景もふくめて、できるかぎり多面的にお話ししたいと思います。



## 兵庫学習センター客員教員による学習相談



所長ほか 8 名の客員教員が学習についての相談に応じます。

事務室窓口または、電話（☎078-805-0052）、メール（hyogo-sc@ouj.ac.jp）で事前にお問合せください。

【参考：これまでの相談例】

今後の進路（大学院への進学）、学習の進め方、卒業研究 など

曜 日	客員教員名	所 属	専 門
水～日	岡田 修一	所長・神戸大学名誉教授	加齢身体運動科学
第2・第4火	大串 健一	客員教授・神戸大学教授	古環境学
第2・第4火	源 利文	客員教授・神戸大学教授	水域生態学
水	坂本 千代	客員教授・神戸大学名誉教授	フランス文学
水	重富 公生	客員教授・神戸大学名誉教授	近・現代西洋経済史
第1・第3・第5木	大月 一弘	客員教授・神戸大学名誉教授	情報科学
金	白杉 直子	客員教授・神戸大学名誉教授	食環境学
第1・第3・第5土	森下 淳也	客員教授・神戸大学名誉教授	情報科学
日	米谷 淳	客員教授・神戸大学名誉教授	実験心理学・社会心理学



2024 年度第2学期



## 卒業証書・学位記授与式 を開催しました

2025 年 3 月 23 日（日）、兵庫学習センター・姫路サテライトスペース合同で「2024 年度第 2 学期卒業証書・学位記授与式」を開催しました。



兵庫 SC・姫路 SS では、教養学部 90 名、大学院 6 名の方々が卒業・修了されました。

放送大学では、教養学部全コース（又は専攻）を卒業した方で、人物、学習態度が良好であると認められる学生に対し、「放送大学名誉学生」の称号を付与しています。このたび、兵庫 SC・姫路 SS では、4 名の卒業生が名誉学生の称号を授与されました。

卒業生・名誉学生を代表し、斎藤修二さんが答辞を述べました。心よりお祝い申し上げます。

式典終了後、兵庫学友・同窓会主催の懇親会が開催されました。



## 2025年度第1学期 入学者の集い を開催しました



2025 年 4 月 6 日（日）、「2025 年度第 1 学期入学者の集い」が兵庫学習センター・姫路サテライトスペースでそれぞれ開催されました。ご入学の皆様、おめでとうございます。

集い終了後、兵庫学友・同窓会主催の歓迎会が開催され、新入生同士や先輩方との交流の場がもたれました。

### 兵庫 SC・姫路 SS2025 年度第 1 学期入学者 (2025 年 4 月 10 日現在)

◇ 教養学部		
科目履修生	…	185 名
選科履修生	…	238 名
全科履修生	…	243 名
◇ 大学院		
修士科目生	…	4 名
修士選科生	…	56 名
修士全科生	…	5 名
博士全科生	…	1 名





# 卒業生・修了生からのメッセージ

2024 年度第 2 学期 卒業・修了の皆様から、メッセージをいただきました。



## 生活と福祉コース 古田 峰子さん

私は全科履修生で入学して、卒業研究に挑戦することを目標にしていました。しかし、最初のテーマをしぼることからつまづいて、放送大学の担当の教授に何回も軌道修正と助言をいただき、やっとテーマを決めました。そして、アンケートの対象者を兵庫学習センターの学生さんにしていたので、特別講義を受講している学生の皆さんをはじめ、所長の岡田先生、職員の方、ピアサポーターの学習相談員、ゼミ講師の先生方など多くの方々にご協力をいただきました。最後までやりとげることができたのは、多くの皆さんの協力とご指導のおかげだと考えており、深く感謝しています。

研究の途中、私には無理かもと思った時期もありましたが、11月1日の〆切になんとか間にあいました。卒業研究は苦しさだけではなく、学ぶことの楽しさやおもしろさも知ることができて、挑戦してよかったと思います。

在学生の皆さんには、何か疑問に思うことがあって検証してみたいと考えている方には、ぜひ、卒業研究に挑戦することをおすすめしたいと思います。



## 生活と福祉コース 安政 元子さん

放送大学の2度目の卒業式をむかえました。1度目の卒業では、卒業と同時に日本心理学会認定心理士の資格を取得することが出来ました。今回は、在学中に心理の国家資格である公認心理師の資格試験の受験に挑戦しました。職場で実務経験証明書を発行してもらい受験資格を得て受験し合格しました。働きながら受験勉強をすることは、私にとっては努力を要することでしたが、放送大学での放送授業・面接授業の授業内容はいずれも深く、公認心理師の受験勉強の助けとなりました。また学問を学びながら働くことで仕事と学業を両立する生活スタイルが身に付きました。今年60歳という年齢になりましたが、ここまで働き続けてこられたのは放送大学での学びのおかげだと、岡田所長先生はじめ兵庫学習センターのスタッフの皆様、お世話になった先生方や共に学んだ友人達に心より感謝しています。



## 生活と福祉コース 山脇 俊哉さん

選科履修生として8年間学んだ後、2019年全科履修生として入学し、卒業する日を迎えることができました。家族をはじめ、大学の先生、職員方のおかげであると感謝いたします。長い時間かかりましたが、目標の一つが達成できました。

学んできたことを、毎日の生活の中で役立てることができるよう、今後も、楽しく、主体的に、学んでいけたらと思っています。ありがとうございました。



## 心理と教育コース 岩本 亮一さん

18年前、元職場の先輩の奨めで放送大学に入学。2度目の退職を控えて、これからの人生をどう過ごしていくか迷っていた時でした。①生涯学習 ②趣味 ③地域内に友人の目標を樹て、①は放送大学 ②は菊作り ③はシルバー人材センター入会を決断。あれから18年。

お陰様で私の人生84年の中で最も充実した時間となりました。中でも放送大学では、「人間と文化」「生活と福祉」「社会と産業」そして今回、「心理と教育」の各コースを受講し広く教養の向上に努めました。この間、サークル「武田先生と里山を歩こう会」では多くの会員と親しくして頂いた事は大きな財産です。長い間、お世話になりました。“感謝”いたします。



## 心理と教育コース 石塚 ゆかりさん

2021年4月に放送大学教養学部心理と教育コースに編入学をしました。最初は勉強するよりも放送授業を受けるということやシステムになれるまであたふたしたこともありましたが、年数を重ねるにつれ、自分の勉強するスタイルも定着していきました。仕事をしながらでの受講のため、土日中心の勉強スタイルでしたが、通勤時間を利用してテキストを読んだり、無理のない範囲で進めることにより4年をかけて2024年2学期にて無事卒業することができました。

放送大学での思い出の1つに面接授業で心理学実験を受けたことがあります。普段他の生徒さんと接する機会がないので、面接授業で共に学ぶ学生の方々との触れ合いがとても新鮮で励みになりました。また、実際心理学実験を体験することにより、知識や感動も深まり大変勉強になりました。

授業を受けている間は、単位のテストもあるのでゆっくり勉強を楽しめる余裕がなかったのですが、卒業してゆっくりできる時間が増えたので、これからは今まで購入したテキストを改めて読み直していくことが今の楽しみです。

これからの人生の中で今まで勉強してきたことをまた活かしながら様々な経験を積み重ねていきたいと思います。勇気を出して放送大学に入学して本当に良かったなと思います。



## 心理と教育コース 斎藤 修二さん

たくさんの立派な教授陣と内容豊かな教材・授業、恵まれた設備と環境、そして事務室職員の皆さまのお世話をいただきましたお蔭で楽しく在学させていただいている間に、いつの間にか6コース卒業となり、今回名誉学生の資格をいただきました。ありがとうございました。

加えて、お礼申し上げたいことがあります。それは、いつも利用させていただいた神戸大学の施設についてです。生協の食堂、売店は登校するたびに利用させていただきましたが、手近かで便利、大変ありがたいものでした。特に、食堂からの景色はぜいたくなご馳走でした。

更に、神戸大学の図書館（社会科学系、総合・国際文化学）も再々利用させていただきましたが、そこでは充実した自分の時間を過ごせたという以上に、学生さん達から若いエネルギーを貰えていることを実感でき、年寄りには大変嬉しいことでした。

六甲山麓の南斜面、眼下に神戸港・大阪湾を見下ろすというまたとない絶景、これも楽しみにまだしばらくはキャンパス通いをさせていただこうと思っています。



## 心理と教育コース 匿名希望

私が放送大学に入学するきっかけとなったのは、還暦を迎えた年に母から、何か身に着けるものを買いなさいと言われて、少しばかりのお祝い金をもらったことがきっかけだった。

母は何か、洋服など着る物を考えていたようだが、それまでの会社勤めの見直しを含めて放送大学に入学し、知識をつけることにした。母からのお祝い金は、勉学に改めて取り組むきっかけとなった。あれから14年が過ぎ今年、五つ目のコースを卒業することに成った。

放送大学で学んだことは、いろいろあるが、一言でいえば、表面の出来事だけでなく、その問題の本質は何かを考えるようになってきたように思う。

特に面接授業については、テーマをベースに、先生の経験をもとにした、エピソードのお話しもあり、参考になるだけでなく、そういう考え方もあるのだということに気づかされた。

授業を通じて身に着けた知識、考え方をくらしにいかしていきたいと思っている。



## 人間と文化コース 城山 義見さん

私は1999年10月、会社の定年と同時に、放送大学の岐阜学習センターで選科生として入学し、翌年、次の仕事で松山市に行くことになり、愛媛学習センターの所属となりました。そして1年後に全科履修生に変わり、仕事に関係する「産業と技術」コースで勉強を続けました。

放送大学で学ぶ私の目的は今日まで“生涯学習”ですが、その後、松山での仕事を終わり、神戸の自宅に戻り、兵庫学習センターでこのコースを修了し、「社会と経済」、「自然の理解」「生活と福祉」を卒業して、今回は5回目のコース終了となりました。

途中、資格試験勉強のため、約3年間休学しましたが、長年勉強して感じることは、放送大学では幅広い分野を勉強することができるので、世の中のことがある程度理解できることです。今回の「人間と文化」コースでは、文化人類学、音楽、外交、宗教など幅広く学びましたが、まだ学びたい科目が多くあります。次は再入学して、「心理と教育」コースで学びますが、並行して「人間と文化」コースの興味のある科目も学ぶ積りです。

そして、私は学んだことを地域社会で活かすことが放送大学で学んだ学生の責務と考えています。地域社会にはいくつかの組織があり、色々な人生を送ってきた人たちが住んでいます。地域社会で多くの人たちと話をする時の話題には放送大学で学んだことが役に立ちます。

兵庫学習センターでは積極的に特別講義にも参加し、サークル活動も15年続いています。また社会の動きを知るためには「経済」の勉強が有益と考えて、自主勉強会も10年以上続けました。

これからは健康が第一と考えて、無理をせず、マイペースで学び続けたいと思っています。



## 人間と文化コース 渡海 英一さん

今春、1998年に選科履修生を始めて以来、学部5回、修士1回の卒業・修了となりました。まもなく76歳の今、足腰は弱り、体力・気力の減退は否めません。「来るべく高齢化社会に向けて、いかに健康寿命を延ばすかは近代社会が抱える喫緊の課題である」ことを自分自身が痛感している今日この頃です。

しかしながら、「永遠に生きるように学べ、明日死ぬかのように生きろ」マハトマ・ガンジーの言葉で、学びは生への活力であることを示唆しています。これからも放送大学の講座を活用して、生への活力を維持していきたいと考えています。



## 人間と文化コース 野上 亨さん

私と放送大学の出会いは、2010年の秋まで遡ります。仕事のストレスから体調を崩し休職療養中でしたが、出口が見えてきたこの時期に「この経験を活かしたい」と考えました。

ただ、経験はあっても知識がありませんでしたので、学べる場を探している過程で放送大学が目にとまり、自分のライフサイクルに合っていると考え入学を決意しました。

2011年4月に入学、「生活と福祉コース」で学び始めました。入学日は職場復職した日でもあり、私が再出発した「記念日」になっています。

いろいろ苦労はありましたが、2019年9月に卒業しました。経験と学んだ知識は、会社の担当の一つである安全衛生業務に活かすことができました。

その後、定年退職しましたが、「社会と産業コース」を2022年3月卒業、さらに「人間と文化コース」で今回卒業を迎えました。来月からは「心理と教育コース」で学びます。

スタッフの皆様、引き続きお世話になります。

在学生の皆様、新入学生の皆様、一緒に頑張りましょう。



## 人間と文化コース 匿名希望

入学手続きをした後、1－2か月の間にコロナが広がり始め、世間も騒ぎ出す中、大学より入学式中止、在宅での試験の実施、面接授業の中止などの連絡が届き、これからどうなることであろうかと心配になりました。しかし、振り返れば、外出できなかったことが、勉強に集中できる機会となったように感じます。

卒業までにはコロナ以外にも、家族の病気・入院など、予想しなかったできごともありましたが、面接授業が開始されてからは、学友と交流する機会ができ、また、大学の方でも、オンラインやライブWeb授業の充実を図って下さったことで、自身が在籍するコース以外の科目においても積極的に楽しく講義を受けることができました。学友、教授や講師の方々、また授業制作にかかわっておられるスタッフの方々、そして学習センターでいつもサポート下さるスタッフの方々、皆さんのお陰で卒業まで頑張ることができたと、本当に感謝の気持ちで一杯です。今後も機会があればぜひ再び放送大学で学びたいと思います。どうもありがとうございました。



## 情報コース 福田 五十鈴さん

仕事のために最新の情報と知識を求めて、生活と福祉のコースをスタートしました。卒業を回避するように他のコースの履修科目をとりました。予定になかった卒業を5年で迎えました。その後は『心理と教育コース』、ここでは、私が何故生きつらいと感じていたかをじっくり考える機会を得ました。『人間と文化』では、中世日本文学の徒然草や方丈記の世界観から、思うように生きていくことのむつかしさや慰めを得られました。『社会と産業』では、激動する今世紀の世界を多様な切り口から展開される講師の話に聞き入りました。今回の『情報』の5コースでの卒業を迎えました。

『卒業したくない・・・もっと学びたい』という気持ちがずうっと私を支えてくれました。2004年からですから、振り返るとちょうど20年です。



## 情報コース 匿名希望

人生の内、空いた時間を使って学習する事も良いです。学習は頭の運動で、歩行は身体の運動です。学習は情報の更新です。続けてください。



## 自然と環境コース 西角 貴美子さん

介護学校でヘルパーの勉強をしました。学習する習慣を続けるために、大人の公文教室で英語や数学を勉強していましたが、放送大学の資料を見て、公文教室より安い授業料と多くの授業に、入学を決めました。

ゆっくり、ゆっくり勉強していたので卒業まで16年もかかりました。友人も出来、面接授業も研究者の生の声が聞けてとても楽しかったです。

好きな天文学を生かす為、明石の天文科学館で天体ボランティアをしています。天体ボランティアの友人にも放送大学は面白いとすすめています。今後も色々と勉強していきたいです。



## 自然と環境コース 四元 照道さん

私が、大学に入学したきっかけとして勤務している学校長より教育委員会からの通達もあり、教員免許更新の単位取得が目的でした。在宅で学習が可能で、通学の必要がほとんどないため、忙しい教員にとって非常に便利でした。講義内容が実際の教育現場での役立ち度が低いと感じられることもあり、時間と労力に見合わないと感じることもありました。でも他の選択肢と比べて費用が比較的安いことが魅力的でした。安倍首相の時代に制定された教員免許更新制度は、教員の資質向上を目的として導入されましたが、現場をかけ離れた意味のない研修や講習費用そして時間の負担が大きいという批判があり、安倍の置土産として教員側からは多数の悪評がありました。この悪評の高い教員免許更新制度は、2022年から廃止になり、良かったと思います。

センターを訪ねた時に、先生の紹介で面接授業に興味湧き受講する回数が増えました。面接授業では、教員や他の受講生と直接交流できるため、オンライン授業では得られないライブ感やディスカッションの機会が魅力的でした。年齢や職業が異なる受講生と一緒に学ぶことで、視野が広がり、学びがより深まりました。個人では行くことができない天文台の施設や大学の海洋施設、漁船の搭乗等色々素晴らしい経験ができ大変有意義な学習ができました。放送大学の面接授業は実験やグループワークなど、実践的な内容が含まれることが多かったので、学びを実生活や仕事に活かして本当に良かったと思いました。



## 自然と環境コース 匿名希望

今でも17歳からやり直したいと思うことがあります。切磋琢磨できる多くの学友に恵まれながらも、自らの努力不足で大学進学が果たせなかった後悔の念からです。

大学での学びにより、当時、比較的得意だったはずの数学、物理の何と難解で奥深い事かを知りました。それらを丁寧に学習し続け、卒業に8年もかかってしまいました。そんなに長く在籍しておりますと、半ばから認知症対策にもなりました(笑)。

お知り合いになった方々のお姿から実感した、いつでも学び直しが出来る事を、次は私から子や孫に伝えられたらと願っています。

放送大学の授業内容には、より上を目指す人への誘いがあります。私もまだまだ理解し難い数学、物理、化学を今後も学び続けたいと思っています。



## 大学院 自然環境科学プログラム 平川 直樹さん

修了を迎えることができ、指導教員・副指導教員の先生方をはじめ放送大学関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

修士論文の題目は、「兵庫県鳥獣保護区有馬富士公園における鳥類群集の多様性と空間分析」です。研究についてはデータを正確にとることの重要性を念頭に置き、種と個体数の学問である群集生態学を中心として数学、情報学など様々な分野の知識を得ながら研究しました。

今後は経験を生かして、様々な地域において研究を続けたいと思っています。



メッセージを寄せて下さった皆様、ありがとうございました。心より御祝い申し上げます。







# 通信指導、単位認定試験について



放送授業科目は、通信指導に合格後、単位認定試験に合格すると単位が認定されます。

## 通信指導

(※『学生生活の栞』学部 P67～71、大学院 P72～77)

2024年度第2学期から、通信指導は「郵送提出科目」を除き、**原則 Web 提出**となりました。

単位認定試験受験を「学習センター受験★」として申請・登録していない方には、通信指導冊子は郵送されませんのでご注意ください。

- 通信指導の「問題」を事前に確認する方法  
システム WAKABA ➡ 授業サポート ➡ 授業共有ファイル
- 通信指導の提出（お試し版もこちらから）  
システム WAKABA ➡ 学内リンク ➡ Web 通信指導

提出方法	提出期間
Web 提出	2025 年 5 月 8 日(木)10:00 ～ <u>5 月 28 日(水) 17:00</u>
郵送提出※	2025 年 5 月 14 日(水) ～ <u>5 月 28 日(水) 本部必着</u>

※郵送提出科目、Web 通信指導による提出が困難な場合に限ります。

## 単位認定試験

(※『学生生活の栞』学部 P72～82、大学院 P77～86)

- 単位認定試験の受験方法（お試し版もこちらから）  
システム WAKABA ➡ 学内リンク ➡ Web 単位認定試験

実施方法	出題形式	試験日程(郵送試験は提出期間)
Web 試験	択一式科目	2025 年 7 月 16 日(水)9:00 ～ <u>7 月 24 日(木)17:00</u>
	記述式・併用式科目	2025 年 7 月 16 日(水)9:00 ～ <u>7 月 20 日(日)17:00</u>
郵送試験※	すべての出題形式	2025 年 7 月 16 日(水) ～ <u>7 月 20 日(日)本部必着</u>

※一部科目については、郵送方式で実施します。

通信指導の「問題」事前確認

通信指導、単位認定試験

★ Web 提出、Web 受験について不安のある方は、お早めに学習センター／サテライトスペースにご相談ください！



## 「公開講演会 & 入学説明会」を開催しました



2025 年 2 月 2 日（日）、兵庫学習センター客員教授 源利文先生の公開講演会が、ウィズあかしで開催されました。

「環境 DNA 分析は生物多様性の危機を救えるか？」と題し、これまで難しいとされてきた、水の中の生物の状況を調べる新しい手法“環境 DNA 分析”について、紹介していただきました。

最新の研究方法に触れるというアプローチから、地球環境について考えるという、貴重な機会でした。

講演会終了後、2025 年度第 1 学期の入学を考える方に向けての説明会も開催されました。



## 金京 拓司 先生 最終講義の報告



2025 年 3 月 27 日（木）、兵庫学習センター客員教授 金京拓司先生最終講義「日本経済のこれからを考える」が行われました。



バブル経済の崩壊後、「失われた 30 年」とも呼ばれる長期停滞を経験した日本経済。現状に至るまでの背景と、この停滞を打破するためにどんなことが今後必要となるのか、お話いただきました。

金京先生、大変お世話になりました。



### 2026 年度 履修希望者対象

#### 卒業研究 説明・相談会

2026 年度に卒業研究履修をご検討の方を対象に、説明・相談会を実施します。

申請までの準備や流れなどを説明します。履修をご検討の方はぜひお申込みください。

**日 時** 6 月 22 日（日） 14：00～15：30

**場 所** 兵庫学習センター 6 階 実習室

**申 込** 兵庫学習センター（☎078-805-0052）

◆ 卒業研究については、『学生生活の栞』（学部 P51）をご参照ください。

### 公開講演会のご案内

申込不要・無料・どなたでも参加できます

今年度客員教授にお迎えした重富先生の公開講演会を開催します。

**日 時** 8 月 24 日（日） 13：30～15：00

**場 所** 兵庫学習センター 7 階 大講義室

**テーマ** 「万国博覧会いまむかし」

**講 師** 重富 公生 先生  
（兵庫学習センター客員教授、  
神戸大学名誉教授）





## 事務室からのお知らせ



### 退職の職員からご挨拶

姫路サテライトスペース 職員 楯 敏明

本年3月末をもちまして姫路サテライトスペースを退職いたしました、楯 敏明と申します。

前職場の在職時に、当サテライトスペースの開設に携わったことで馴染みがありましたので、2023 年4月に着任いたしました。当初は不慣れで、ご迷惑をおかけしたこともあったかも知れません。ただ、熱心に学習されている学生の方々には心底敬服し、満足できる学習環境となるよう、いつも願って仕事をしました。

短い期間でしたが、兵庫学習センター教職員の皆様、所属学生の方々には大変お世話になったこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

皆様のご健勝とご多幸、放送大学の益々の発展をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。



### キャンパスメール 自動転送 設定方法について ～設定しておくとても便利です！～

「キャンパスメール」に届いたメールを、普段ご利用の携帯メールアドレスなどへ自動転送することができます。設定方法のマニュアルがシステム WAKABA に掲載されています。

キャンパスライフ ➡ 附属施設・情報システム ➡ キャンパスメールの自動転送設定方法

※学生全員に割り振られている「キャンパスメール」は、放送大学 Web サイト、またはシステム WAKABA から開くことができます。学修関連の連絡が届きますので、定期的にチェックをお願いします。

キャンパスメール [ハイフンを除く学生番号@campus.ouj.ac.jp](mailto:ハイフンを除く学生番号@campus.ouj.ac.jp)

予告

### 兵庫学習センター・姫路サテライトスペースにおける

### 閉所日週2日制について

来年度、**令和8年（2026年）4月1日**より、以下の閉所日週2日制を実施します。

時 期	閉 所 日
4月～6月 及び 10月～12月	月曜日・火曜日
7月～9月 及び 1月～3月	日曜日・月曜日 ただし、日曜日に面接授業、単位認定試験、行事が予定されている場合には、翌日の月曜日及び火曜日を閉所とします。

★ 上記以外、祝日、国民の休日、年末年始は、これまでどおり閉所いたします。  
また、臨時で閉所する場合がありますので、ホームページ、掲示板等でご確認ください。



# 今後の予定(6~9月)



日程は変更することがあります。兵庫学習センターの Web サイトで随時、確認してください。

## 6 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	閉所日		面接授業(兵)	面接授業(兵)		面接授業(兵)
8	9	10	11	12	13	14
面接授業(兵)	閉所日				面接授業(姫)	面接授業(姫)
15	16	17	18	19	20	21
臨時閉所日 兵庫SCのみ	閉所日		坂本ゼミ	大月ゼミ	岡田ゼミ	森下ゼミ
22	23	24	25	26	27	28
面接授業(兵) 卒研説明会 米谷ゼミ	閉所日		源ゼミ	重富ゼミ	白杉ゼミ(兵)	面接授業(兵)
29	30					
面接授業(兵)	閉所日					

6月15日:兵庫SCのみ臨時閉所(建物内停電のため)  
6月22日:卒業研究 説明・相談会  
上旬:2026年度卒業研究履修の手引配付  
中旬:2026年度大学院修士・博士全科目募集要項配付  
中旬:2025年度第1学期編入学既修得単位認定結果通知発送

## 7 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
						面接授業(兵)
6	7	8	9	10	11	12
面接授業(兵)	閉所日					
13	14	15	16	17	18	19
	閉所日					
20	21	22	23	24	25	26
	閉所日					
27	28	29	30	31		
	閉所日					

➡ 7月16日~20日:単位認定試験期間(Web試験記述式・併用式・郵送試験)  
➡ 7月16日~24日:単位認定試験期間(Web試験択一式)  
上旬:通信指導結果返送・試験通知(受験票)送付  
中旬:2025年度第2学期科目登録申請要項送付

## 8 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						森下ゼミ
3	4	5	6	7	8	9
	閉所日				白杉ゼミ(姫)	
10	11	12	13	14	15	16
	閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日
17	18	19	20	21	22	23
臨時閉所日	閉所日		坂本ゼミ	大月ゼミ	白杉ゼミ(兵)	
24	25	26	27	28	29	30
重富先生 講演会 米谷ゼミ	閉所日		重富ゼミ		岡田ゼミ	
31						

8月12日~17日:夏季休業による臨時閉所  
8月24日:重富公生先生公開講演会  
中旬:2026年度大学院修士・博士全科目出願開始  
下旬:成績通知  
下旬:2026年度卒業研究履修申請  
●2025年度第2学期科目登録申請期間  
(郵送)8月15日~28日 (Web)8月15日~29日

## 9 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	閉所日				白杉ゼミ(姫)	
7	8	9	10	11	12	13
	閉所日					
14	15	16	17	18	19	20
	閉所日		坂本ゼミ	大月ゼミ	白杉ゼミ(兵)	森下ゼミ
21	22	23	24	25	26	27
米谷ゼミ	閉所日	閉所日	重富ゼミ		岡田ゼミ	
28	29	30				
学位記 授与式	閉所日	源ゼミ				

9月28日:2025年度第1学期学位記授与式  
(兵庫SC・姫路SS合同)  
中旬:2025年度第2学期出願受付締切(第2回)

### ■ 放送大学兵庫学習センター

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 2-1  
(神戸大学六甲台キャンパス内)  
TEL: 078-805-0052 FAX: 078-805-0067

### ■ 放送大学姫路サテライトスペース

〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68-290  
(「イーグレひめじ」地下2階)  
TEL: 079-284-5788 FAX: 079-284-5812

### ■ Web サイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hyogo/>



### ■ Web サイト



### ■ × (旧ツイッター)

